

[一括質問一括答弁方式(件名内)]

【1】5番 青木 春美 議員

1 将来を見据えた介護施策の持続可能性の確保について

- (1) 小諸市における介護現場の人材確保の課題を踏まえ、持続可能な地域包括ケア体制の構築に向けた具体策について
  - ① 介護現場における働きやすさの向上や離職防止について、どのような取組を行っているか
  - ② 現在の支え合い体制や見守りの仕組みについて、その現状と評価をどのように捉えているか
  - ③ 介護分野における将来への備え、いわゆる投資についてどのように考えているか

2 有害鳥獣対策について

- (1) 被害の現状について
  - ① 令和7年度の被害状況はどうか
  - ② ツキノワグマの目撃状況はどうか
- (2) 令和8年度の対策について
  - ① 新たな対策や取組はあるか
  - ② ガバメントハンター設置の目的と期待は何か

[一問一答方式]

【2】16番 柏木今朝男 議員

1 災害に強いまちづくりと防災力の強化について

- (1) 地域防災力強化と避難所環境改善について
  - ① 国の「防災力強化総合交付金」の活用を含め、市民の命を守る防災・災害対策をどのように強化し、地域防災力の向上につなげていくのか
  - ② 現在の避難所環境は「スフィア基準」に照らし、どの状況にあると認識し、スフィア基準の達成を目標として位置付ける考えはあるか

2 子どもの学びと地域の活力を支える図書館機能の充実について

- (1) 学校図書館の体制整備と学校司書の充実について
  - ① 学校司書の専門性と役割の認識はどうか
  - ② 学校司書の配置状況と勤務実態はどうか
  - ③ 各学校図書館の図書標準の達成状況と更新状況はどうか

(2) 地域の「知のハブ」としての市立小諸図書館の機能強化について

- ① 市立小諸図書館を市民の暮らしや地域の課題解決を支える「知のハブ」として機能強化していく考え方はどうか
- ② 市立小諸図書館を「市民交流の拠点」とすることで地域の活性化を図ってはどうか
- ③ 市立小諸図書館と学校図書館の連携について、授業支援に直結する連携の現在までの実績と今後の展望はどうか

[一問一答方式]

【3】8番 土屋 利江 議員

1 重点施策の進捗状況について

(1) 脱炭素先行地域づくり事業について

- ① 太陽光発電、小水力発電、バイオガス発電などの再エネ発電整備は、公共施設が先行しているが、市民が住宅で取り組む際のメリット(目的・効果)はどうか
- ② 先行地域内の市民の意識醸成に向けた周知はどのように行っていくのか

(2) こども家庭センターの現状と課題について

- ① 子育てに不安を抱える家庭への支援はどのようにしていくのか
- ② 子どもの貧困問題への取組はどうか
- ③ ヤングケアラーの取組の強化はどうか
- ④ 児童虐待防止対策についての具体策はどうか

2 健康づくり事業について

(1) がん患者アピアランスケア助成事業について

- ① これまでの実績状況はどうか(頭髪補整具・乳房補整具・エピテーゼ)
- ② 対象範囲と助成上限額の拡充はどうか
- ③ 制度の周知と申請手続きの利便性はどうか
- ④ 相談体制の強化の取組はどうか
- ⑤ 子どもたちへの「ヘアドネーション」の啓発活動の取組はどうか
- ⑥ 円形脱毛症やその他の脱毛症に対する独自の助成制度の取組はどうか

【4】6番 楚山 伸二 議員

1 地域自治の持続性と信頼性、透明性、公平性について（パネル使用）

- (1) 区長の兼職についての問題提起やそのルール決定プロセス、自治組織のあり方について
  - ① 区長会を通じて実施されている「市議会議員と区長の兼職のあり方に関するアンケート」について、当該結果は今後の制度運用やルール化にどのように反映するのか
  - ② 当該文書には「役割の相反」や「市民への不透明感」といった前提が示され、さらに「役割分離が現実的」との方向性が記載されているが、このような前提設計が回答者の自由な意思形成を妨げ、アンケートの中立性が損なわれる可能性があると考えらるかどうか
  - ③ 本アンケートの作成及び実施過程における市の関与、並びに区長会と行政との関係はどうか
  - ④ 議員と区長の兼職について、仮に一定の利益相反や市民への不透明感が懸念されるとしても、一律に禁止するのではなく、制度設計や運用によって調整するという考え方もあると思うがどうか
  - ⑤ 本件の背景の一部にある区長のなり手不足について、市はその原因をどのように分析し、負担軽減や担い手確保に向けた具体的な施策をどのように考えているのか
  - ⑥ 本件は地域自治の信頼に関わる重要な課題であるが、市民への説明や意見聴取の機会をどのように確保していくのか

[一括質問一括答弁方式（件名内）]

【5】7番 高橋 公 議員

1 「商品券」と「こもポン」について（パネル使用）

- (1) 全市民に配布した1人6,000円分の「商品券」について
  - ① 市民の利用実績はどうだったか
  - ② 経費の実績と内訳はどうだったか
- (2) 誰でも小諸市内で使える1人7,000円分の20%割引券「こもポン」について
  - ① 利用者の利用実績はどうだったか
  - ② 経費の実績と内訳はどうだったか
  - ③ 利用者を市民に限定しなかったのはなぜか
- (3) 他市との違いについて
  - ① 県内東信各市において工夫が感じられるが、小諸市は他市の事業に対し優位性はあるか
- (4) 自由度の高い交付金活用方法の、小諸市の考え方について
  - ① 例えばコロナ禍でのワクチンの集団接種の予約方法や、自由度の高い地方創生臨時交付金の活用に対し、小諸市独自の手法として市職員や有識者など比較的少人数のグループのアイデアをそのまま採用し、スピーディーに事業化しているように感じるがどうか

[一括質問一括答弁方式(件名内)]

【6】10番 小林 一彦 議員

1 「対話と協働の学び」の導入について

- (1) 「対話と協働の学び」を導入する意義について
  - ① なぜ今「対話と協働の学び」を導入するのか
  - ② 従来の「一斉授業」と比べてどこがどう変わるのか
  - ③ 「対話と協働の学び」が成立するためにはその土台となる基礎学力の習得が前提となるのではないか
  - ④ 「個別最適な学習」と「対話と協働の学び」はどうか関係するのか、両立するのか、それとも矛盾するのか
  - ⑤ 「学力のばらつき」と「不登校の増加」が教育課題として挙げられるが、「対話と協働の学び」を進めることでこれらの課題は改善されるのか
- (2) 「対話と協働の学び」を導入する上での課題について
  - ① 現実の教室で「個別最適な学習」かつ「対話と協働の学び」を進めることは可能なのか
  - ② 教員を育成するためにどのような研修・支援体制をとっているか
  - ③ 「対話と協働の学び」を導入することによって、授業の形態が従来の「一斉授業」から変化することについて、保護者や地域に丁寧に周知することは絶対に必要と考えるがどうか

[一問一答方式]

【7】19番 田中 寿光 議員

1 自主財源の確保について

- (1) 用途廃止施設の活用・処分について
  - ① 未利用資産の活用・処分について、まずは実行計画を作成すべきだがどうか
  - ② 公共施設マネジメント課内に推進体制強化のために土地家屋調査士、不動産鑑定士などの外部専門家の導入はどうか
  - ③ ガイドラインにある民間開放が確定した施設について、企業誘致などによる民間活力の導入状況はどうか
- (2) ふるさと納税の推進と経費について
  - ① 増加する寄附額に対して返礼品の地場産品確保の状況はどうか
  - ② 仲介サイト運営会社の選択と集中などにより、手数料の引き下げを求めることはどうか
  - ③ 中間支援事業者への委託料などの契約状況はどうか
  - ④ 返礼品の調達費用と事務費等の削減の課題はあるか

【8】3番 土屋さつき 議員

1 佐久平駅アクセス道路について（パネル使用）

(1) 佐久平駅アクセス道路新設整備事業について

- ① 令和8年3月の事業計画説明会の実施状況はどうであったか
- ② 地元住民及び土地所有者の理解と協力を得るためにどのような手段をとっていくのか
- ③ 三岡地区の第一種農地との関係性についてはどうか
- ④ 交通量が変わることによる安全面への配慮はどうか
- ⑤ 今年度の予定はどうか

2 芦原新校について（パネル使用）

(1) 芦原新校再編事業について

- ① 「小諸市議会からの芦原新校設計に関する申し入れ」の中で実施設計に反映できたことは何か、できない項目に関してどのような対策を講じていくのか
- ② 仮設校舎建築工事の状況と今後仮設校舎への引っ越し、校舎建築工事着工に向けての進捗状況はどうか

3 小諸市小中一貫教育推進基本方針の実施について

(1) 小諸市小中一貫教育の実施に向けて

- ① 小諸市の小中学校の授業において「対話と協働の学び」「共有課題」「ジャンプの課題」は位置づいているのか
- ② 児童生徒の異学年交流の取組はどうか
- ③ 教職員における小中連携は実施していくのか

【9】4番 小林 哲子 議員

1 本市の幼児期における性や身体に関する教育について（パネル使用）

(1) 実施状況と課題について

- ① 令和5年3月以降、小諸市における地域での「性教育」の取組状況はどうか
- ② 幼稚園・保育園等では性や身体に関する教育をどのように実施しているか
- ③ 文部科学省「生命の安全教育」の教材は活用しているか
- ④ 現場の保育者が安心して子どもに向き合えるよう、研修や支援体制はどうか
- ⑤ 今後現場を支える取組はどのようなものが考えられるか

2 フードリボンについて（パネル使用）

(1) フードリボンを活用した子どもの支援について

- ① 食の支援を必要とする子どもを把握しているか
- ② 食の支援を必要とする子どもの背景をどう捉えているか
- ③ 令和6年9月以降、小諸市におけるフードリボンの取組状況はどうか
- ④ フードリボンの仕組みについて、どのように評価しているか
- ⑤ 他自治体の先進事例について、把握しているか
- ⑥ 官民連携で実施する場合、本市はどのような役割・支援ができるか

[一括質問一括答弁方式（件名内）]

【10】12番 丸山 正昭 議員

1 「心豊かで自立できる人が育つまち」について

(1) スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちについて

- ① 体育施設の改修計画の進捗状況はどうか
- ② 縮小、廃止も視野にいれた体育施設はあるか
- ③ 高地トレーニング関連施設利用者の推移と整備状況はどうか
- ④ 東海大学スポーツ医科学研究所との連携状況はどうか
- ⑤ 運動部活動の地域移行状況はどうか
- ⑥ 大栄小諸球場への新たな有料広告掲載希望者はいるか
- ⑦ 市内の小学校の体育施設（校庭・体育館）の利用状況はどうか
- ⑧ 令和8年度の体育施設の予約状況はどうか

[一問一答方式]

【11】2番 中村美奈子 議員

1 小諸市のごみ分別について（パネル使用）

(1) 組成調査結果から見える燃やすごみの現状について

- ① 令和7年度の調査結果を踏まえ、燃やすごみの課題をどのように認識しているか
- ② 資源ごみの混入を減らすため、これまでの分別啓発の成果と今後の取組はどうか
- ③ 分別率向上やごみの減量化を図るための、具体的な目標設定と今後の施策はどうか

## 2 駐車場不足の解消について

### (1) 観光振興と遊休資産活用を目的とした駐車場シェアの導入について

- ① 観光シーズンやイベント時における駐車場不足の現状をどのように認識しているか
- ② 民間の駐車場シェアリングサービスを利用した駐車場確保についての見解はどうか
- ③ 観光振興策として、個人住宅や事業所などの空き駐車場の活用に向けた市としての取組はどうか
- ④ 民間事業者や各種団体と連携し、まずはイベント開催時など期間限定の実証実験から始める考えはあるか
- ⑤ 既存の遊休資産を活用し、市民にも利益が還元される仕組みは持続可能なまちづくりやウェルビーイングの向上につながると考えるがどうか

[一問一答方式]

## 【12】15番 竹内 健一 議員

### 1 少子化対策について（パネル使用）

#### (1) 2028年に向けての出産費用無償化について

- ① 国の保険制度改正に対してどのように評価しているか、また少子化対策としてどの程度の効果が期待できると考えるか
- ② 無償化までの間、出産育児一時金50万円は継続とのことだが、市内及び近隣医療機関での出産費用の実態はどうか
- ③ 出産費用無償化後の市独自支援の考え方はどうか
- ④ 妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援はあるか
- ⑤ 県内で独自の出産応援給付金を実施している自治体との比較はどうか
- ⑥ 「出産費用無償化を歓迎するが、それだけでは少子化は止まらない」と考えるが、小諸市として次の一手は何か

#### (2) 安心して出産できる環境について

- ① 分娩施設の減少が懸念される、医師確保等の課題をどう捉えているか

### 2 令和8年度新規事業について

#### (1) 結婚支援事業について

- ① 「結婚新生活支援事業」の内容と期待する効果はどうみているか
- ② 「官民連携型結婚支援事業」として3事業を計画しているが、具体的な進め方はどうか

【13】1番 清水みき枝 議員

1 小諸市における妊娠・不妊支援と健康管理支援事業について（パネル使用）

- (1) 「“産みたい”に寄り添うまち」を目指した施策について
  - ① 本事業の導入目的と課題認識は何か
  - ② 利用状況と現時点での評価はどうか
  - ③ 自然妊娠率向上の根拠と効果検証の方法はどうか
  - ④ 多様な女性の健康支援として、今後どのように展開していく考えか
- (2) 不妊治療・妊活支援における経済的負担軽減について
  - ① 不妊治療に係る経済的負担の認識はどうか
  - ② 不妊に悩む方への独自支援の考えはあるか
  - ③ 不妊治療を受ける方への相談・支援体制の充実に向けた今後の取組はどうか
- (3) 少子化対策における当事者目線と人権配慮について
  - ① 少子化対策における当事者目線と人権配慮について、市の認識はどうか
- (4) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）と包括的性教育について
  - ① 学校教育におけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツの位置付けはどうか
  - ② 包括的性教育に対する認識はどうか
  - ③ 包括的性教育の充実に向けた今後の取組はどうか

【14】9番 掛川 剛 議員

1 人口減少社会を見据えた持続可能な地域づくりについて（パネル使用）

- (1) 地域自治の持続可能性について
  - ① 高齢化と人口減少が著しく進んでいる区の現状をどのように捉えているか
  - ② 現在の自治組織の仕組みを将来においても維持可能と考えているか
- (2) 地域の将来像について
  - ① 市は中山間地域の将来像をどのように描いているのか
  - ② 自治基本条例に基づき行政が地域とともに将来像を検討する必要があると考えるがどうか

(3) 第6次基本構想への反映について

- ① 第5次基本構想で策定した第2章の地域別まちづくり方針について、現時点でどう評価しているか
- ② 第6次基本構想策定に向けて「人口減少社会の中で地域をどう維持し次世代へ引き継いでいくのか」という課題をどのように反映させるのか

[一問一答方式]

【15】18番 小林重太郎 議員

1 「こどもの権利」と児童虐待の防止について

(1) 虐待の現状と小諸市民の認識について

- ① 「こどもの権利条約」で明確にされた「こどもは権利の主体」という概念は小諸市民に浸透していると考えるか
- ② 最近起こったプロ野球監督（当時）の長女への暴行容疑に対して警察及び児童相談所がとった行動をどう評価するか
- ③ 学校等において「こどもの意見表明権」（言っているんだよ）はどのように扱われているか
- ④ 「児童福祉法第25条第1項」「児童虐待の防止等に関する法律第6条第1項」に規定された虐待に気づいた（あるいはそうかもしれないと思った）時の通告義務は小諸市民に認識されていると考えるか
- ⑤ 性的虐待（令和6年度児童相談所における児童虐待相談対応件数のわずか1.1%）の現状をどう認識しているか

[一括質問一括答弁方式（件名内）]

【16】14番 早川 聖 議員

1 中東情勢をめぐり物価高・資材不足から、暮らしと営業を守ることにについて

(1) 石油由来製品の品不足や値上げに伴う物価高騰対策について

- ① 医療・福祉に関わる影響をどう捉えているか
- ② 塗装業・板金業・建設業・農業等に関わる影響をどう捉えているか
- ③ 物価高騰対策を小諸市としてどう対応していくのか

2 福祉政策について

(1) 加齢性難聴者への支援策について

- ① 全国で補聴器購入補助の自治体が増えている状況についてどう考えるか
- ② 加齢性難聴者へ補聴器購入補助をできないか

【17】11番 田邊 久夫 議員

1 人口減少時代における持続可能なまちづくりについて

(1) 人口減少が進む中でのまちづくりについて

- ① 人口減少を前提としたまちづくりとは具体的にどのような姿を目指しているのか
- ② 人口減少が進む中でも、市民が「小諸市に住み続けたい」と思えるまちにするため、市長が最も重要と考える施策は何か
- ③ 小諸市の10年後、20年後の将来像を市長はどのように描いているか

(2) 地域資源を生かした産業振興によるまちづくりについて

- ① 農業・観光・ワイン産業など、小諸市の強みを生かした産業振興をどのように進めていくか
- ② 地域資源を活用した雇用創出の取組はどうか

(3) デジタル技術の活用によるまちづくりについて

- ① 行政サービスの向上や業務効率化に向けたデジタル化の現状と今後の取組はどうか
- ② 生成AIをどのように市政運営や地域活性化に活用していくか

(4) 市民や事業者と連携したまちづくりについて

- ① 市民や事業者と連携したまちづくりをどのように進めていくか